

第23回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成23年 2月

応募者名: 奈良県田原本町

事業の名称: 田原本駅前広場整備事業

実施都市名: 奈良県田原本町

事業目的

近隣に接している2駅が直結されていない為、乗換時に踏切を渡る必要があり、急ぐ利用者が遮断機をくぐって渡る行為が日常的に見られ、また、駅自体が古い町中にあることから、周辺の道が狭く、駅までの送迎に交通渋滞を招き、大変危険な状態である。これらの危険回避に加え、駅前広場から県道に接続することにより、町の玄関口として多くの方々に利用していただけるよう、田原本駅前広場の整備を実施する。

事業概要

事業名称:田原本駅前広場整備事業

路線名:都市計画道路西田原本駅前線(L=42mW=17m)

事業箇所:奈良県磯城郡田原本町殿町・幸町地内

広場面積:6,160㎡

事業費:21億9千万円

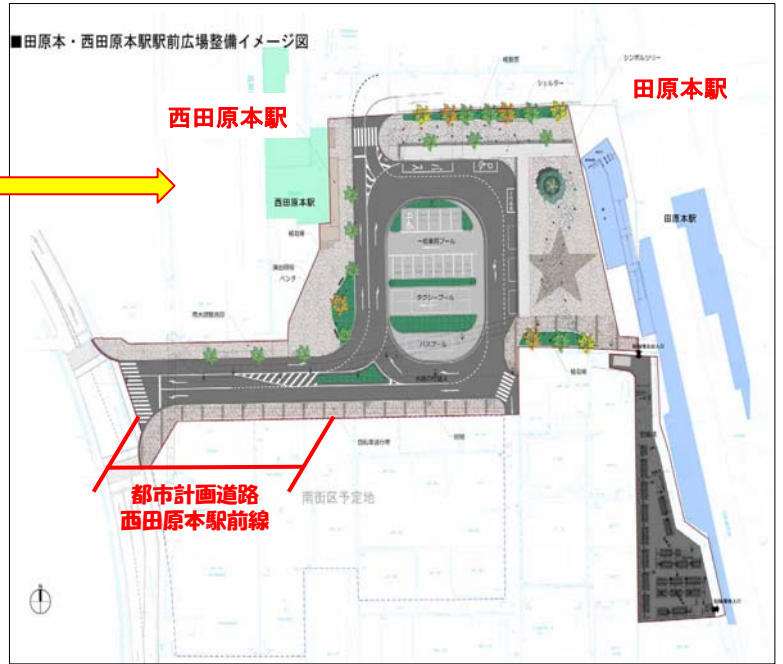
事業期間:平成17年度 ~ 平成21年度

本事業は、近鉄田原本駅と西田原本駅の間に駅前広場を整備するもので、バス待機場及び、タクシー待機場、一般車待機場、自転車駐車を設置する。

両駅の乗降客数は1日約1万9千人で、県下にある近鉄の92駅中13番目の多さであり、ラッシュ時には乗降客と自動車等で非常に混雑し、危険な状態であるため、両駅周辺の整備により、円滑な乗換や渋滞の緩和・バリアフリー化対応等、駅前広場を一体的・総合的に整備し、接続した県道と併せ、駅周辺を安心して利用できるよう整備する。

事業位置図

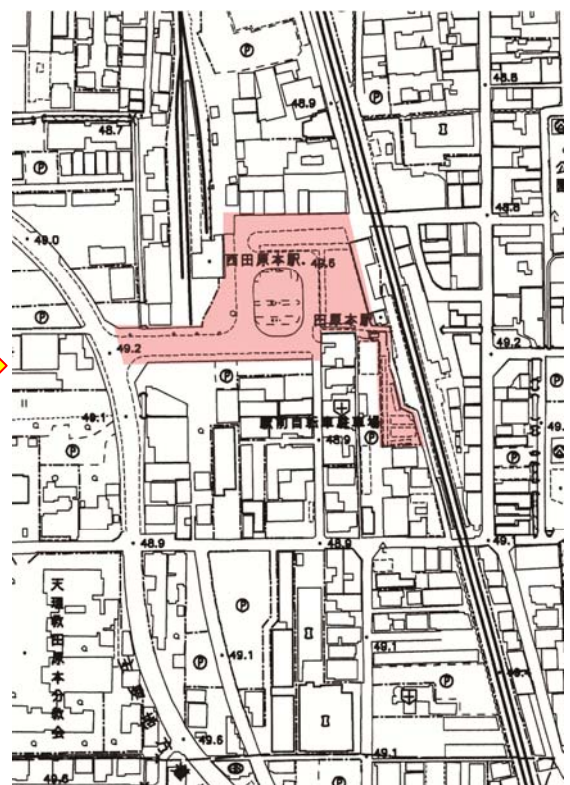
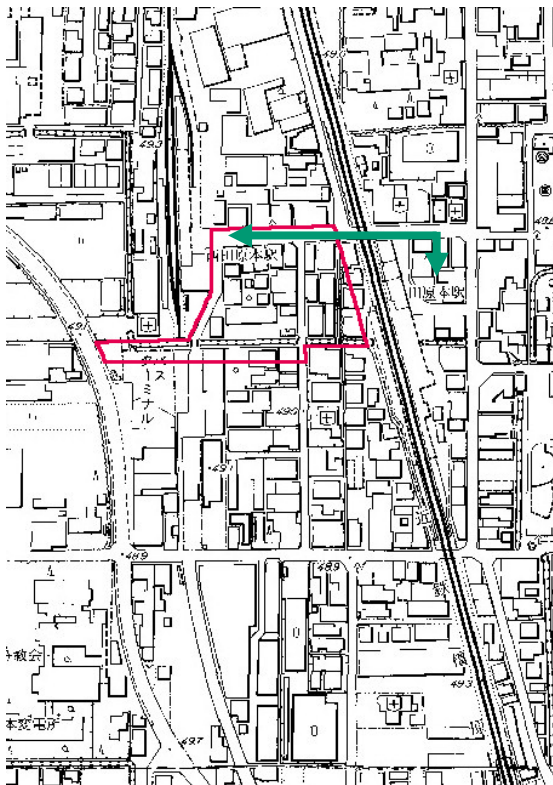
平面図



(事業前)

全体図

(事業後)



↔ 両駅を結ぶ唯一の道

駅前広場の整備効果アピール資料



自動車待機場場に設置した
パーキングシステム
(1時間無料)



点字付き
案内板

新設の西駅舎と
広場スペース

○事業概要

事業名: 田原本駅前広場整備事業
路線名: 都市計画道路西田原本駅前線
事業箇所: 田原本町殿町・幸町地内
広場面積: 6,160㎡
総事業費: 21億9千万円
事業期間: 平成17年度～平成21年度

○歩行者動線の変化

供用前: 踏切横断に混雑し、危険な状態
供用後: 西改札口の新設により、踏切横断者が半減

○交通量調査(午前7時～午後7時の12時間)

駅へアクセスする道路の通行台数
供用前: 約3,500台 (H16年調査)
供用後: 約4,500台 (H23年2月調査)
調査時の状況
供用前: 東改札口しかなく一方通行で混雑
県道から駅に向かう道も狭い
供用後: 西改札口が新設され、送迎車両の
分散化により混雑解消
県道から乗入出来るようになり、
駅前広場交通量が増加

「整備効果」

○交通結節点の強化

バス・タクシー待機場場・一般車待機場場(身障者用含む)の設置
乗降スペースの充実
自転車駐車場の新設(収容台数 約430台)

○安全で快適な歩行者空間の確保

○電柱の地中化や調整池の設置による災害時に役立つ施設
○両駅をシェルターで結んだことによる利用者の利便性の向上

「その他の事業効果」

○近隣の踏切付近で多発していた事故が、自動車動線の変化により減少した。
○駅前広場の供用開始後、放置自転車防止条例を施行し、広場周辺の不法駐輪が激減した。
○広場スペースをウォークラリー等多彩なイベントに利用され、幅広く活用されている。
○町の玄関口として、商業施設の誘致や設置に向けた動きが出始めている。



事業前写真

平成15年5月撮影



1

西田原本駅から田原本駅に向かう人々



2

遮断機が下りていても渡る様子



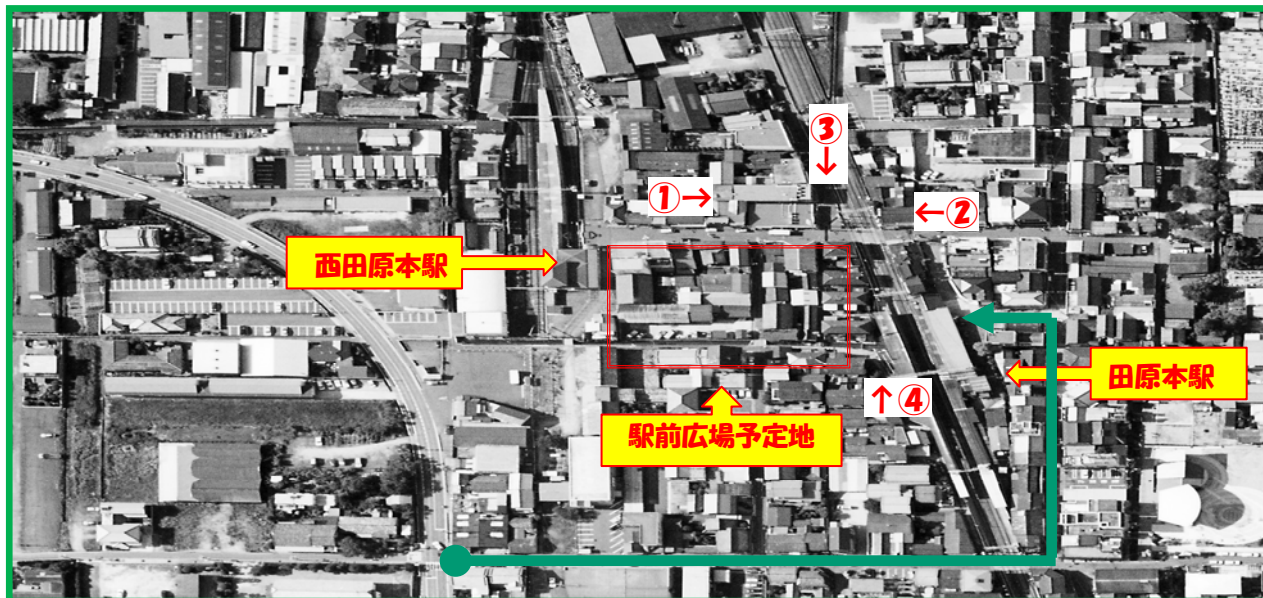
3

この踏切を渡らないと乗換不可能…



4

自転車駐車場建設予定地



駅前周辺の航空写真

← 事業前の車の流れ
(12時間交通量3,500台/H16年調査)

事業後写真

平成22年3月撮影



1

西田原本駅から田原本駅を望む



2

西田原本駅横の歩道スペース



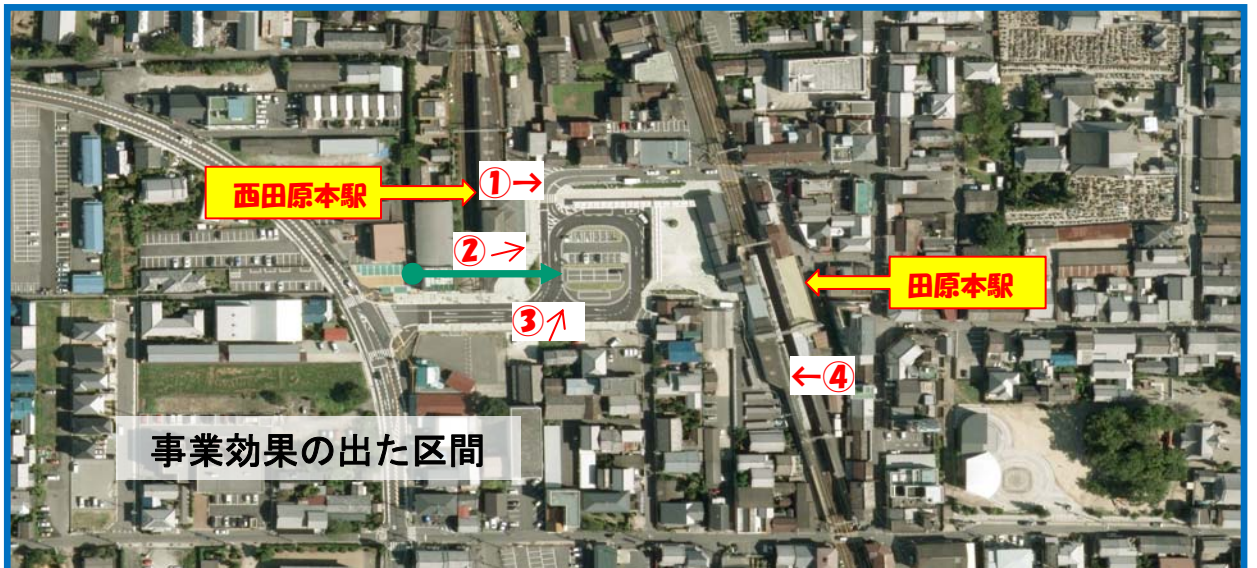
3

タクシープール・一般車待機場



4

平面ゲート式・自転車駐車場



事業効果の出た区間

駅前周辺の航空写真

事業後の車の流れ

(12時間交通量4,500台/H23年調査)